平成２７年度第３回　資料１

計画段階配慮書の住民説明会における意見、質問等

【場所/南区区民センター 日時/平成 27 年 7 月 21 日（火）19:00～20:30 参加者/16 名】

項目	意見の概要	事業者回答
大気	ダイオキシン類の大気調査は、周辺の常盤中学等で行われているが、駒岡団地ではこれまで実施していないのか？	これまでに駒岡団地内での大気質ダイオキシン類の調査は実施していない。近隣では、常盤中学校、啓北商業高校で測定している。駒岡団地内における現況調査は、今後実施する予定である。
騒音	工場の騒音は高い場所に届くことがあるので、平面図ではなく、横断図で状況を見やすく説明して欲しい。 今住んでいる団地は静かだが、清掃工場に近付くと騒音が聞こえるので、工場が団地に近くなることは心配だ。	今後の評価においては、距離と高さ方向の影響について、分かりやすい表現となるよう工夫する。
その他	現在の資源選別センターの敷地内通路は狭く感じるが、新工場の出入口の位置や道路幅について、再検討する必要はないか?事業実施想定区域の西側道路も拡幅し、西側から出入りしてはどうか？	搬出入路は、事業実施想定区域の北側(資源選別センター側)を予定している。石山西岡南線は、駒岡団地に近接していることもあり、日々の車両の出入による影響を考慮し搬出入路としない計画である。 市道駒岡清掃工場横線から新駒岡清掃工場に入る出入口通路は、現在の資源選別センター敷地内であるが、この通路は、今後の基本計画策定の中で拡幅を検討する予定である。
	出入口付近の東西の道路（市道駒岡清掃工場横線）についての拡幅計画はあるか？	市道駒岡清掃工場横線については、既に資源選別センター建設時に整備し拡幅済みであり、今後の整備予定はない。
	車両の騒音振動については評価されているが、交通安全の評価はないのか？南北と東西道路との交差点は見通しが悪く、危険な状況と思う。	収集車両の通行経路における道路交通の安全性については、今後の基本計画等で改めて検討する。
	竣工予算はどのくらいか？また、資金の調達はどうするか？	総事業費は白石清掃工場で４百数十億であったことを踏まえると、新駒岡工場においても数百億という大事業になると考えている。 予算については、現段階で明確にはお答えできないが、一般財源と国の補助金の活用等も検討する計画である。
	余熱利用について、現工場で駒岡団地への供給は認められなかったが、新工場では駒岡団地への供給も検討して欲しい。	余熱供給は集合住宅向きの設備であり、個別住居への供給は難しい面があると考えている。今後、検討は行う。